

# 北上・三門峡市交流の橋渡し

第7期中国・三門峡市研修生

李斌さん

李斌さんは、北上市と今年友好都市締結25周年を迎えた中国河南省三門峡市から北上コンピュータ・アカデミー第7期研修生として、21年4月に来北しました。同アカデミーではコンピュータ・システム科システムエンジニアコースに在籍し、ソフトウェア・ハードウェアの設計、構築、運営や情報システムの開発を学んでいます。

三門峡市から東に300キロほど離れた河南省焦作市出身で、三門峡職業技術学院で2年間、日本語を学んできました。北上に来る前は、勉強してきた日本語が本当に通用するかどうか、また、今までの料理などの家事をしたことがなかったため、一人で生活することに不安を感じていました。来北し、「日本語を話してみても、まだまだ勉強

しなければならぬ」と思いました。また、一人で生活して料理・洗濯など何でも自分でやらなくてはならないので、おふくろの有り難みが分かった。来たばかりのころは、ホームシックになってしまったが、周りの人たちの優しさにふれ、徐々に環境に慣れることができました」と当時を振り返っていました。

これまでに基本情報技術者の資格を習得し、帰国までにマイクロソフト認定プロフェッショナル(MCP)の資格習得を目指して勉強中。コンピュータの知識だけでなく、通訳や翻訳家のようにもつと上手に日本語が話せるように勉強しています。

帰国後は、今回の経験を生かして、「日本語やコンピュータの知識を生かせる職業に就きたい。帰国後もまた、北上を訪れ、日本と中国の交流に貢献したい」と希望に胸を膨らませていました。



## 数字に見る北上 ⑬

93 件

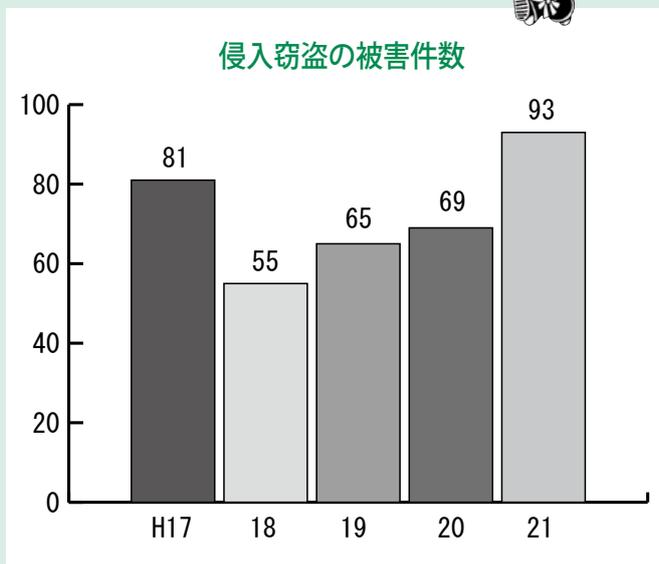


### — 侵入窃盗被害急増 —

平成21年に市内で発生した侵入窃盗(空き巣など)の被害件数です。19年から3年連続で増加し、特に、昨年は急激に増加しました。中でも深刻なのが、被害にあった7割以上が無施錠(鍵をかけていないこと)による被害であったことです。

鍵をかけるだけで犯罪を防ぐ確率は高まります。空き巣に遭わないために①外出・就寝時には、必ず戸締りをする②玄関や窓などには、補助錠を取り付けて「二重ロック」にする③日ごろから近所との連帯感を強めておく—などの犯罪者を寄せ付けない対策を強化しましょう。

侵入窃盗の被害件数





話題の本

中央図書館 ☎ 63-3359

江釣子図書館 ☎ 77-2215

和賀図書館 ☎ 72-2322

ずるやすみにかんぱい！ 宮川 ひろ

まど・みちお詩の本 まどさん100歳100詩集  
まど みちお

日本の妖怪大図鑑 1～3 常光 徹

ガソリン節約のための燃費の本 エコドライブが楽しく続けられる！新装版 宮野 滋

オトコの介護を生きるあなたへ 男性介護者100万人へのメッセージ

男性介護者と支援者の全国ネットワーク

お年寄りのためのひとり分料理 佐伯 知美

### 《5月の新着本から》

『「横審の魔女」と呼ばれて』

内館 牧子 作  
朝日新聞出版

女性初の横綱審議委員・内館牧子さんが任期を終え、まだまだ言い足りなかったこと、相撲界の内緒話などを一気に打ち明ける！『週刊朝日』連載を書籍化。



『ぞうくんのおおかせさんぽ』

なかの ひろたか 作  
福音館書店

ある大風の日、ご機嫌なぞうくんが散歩に出掛けると、強い風に吹かれ、友だちのかばくん、わにくん、かめくんまで転がってきて…。シリーズ3作目。



# きたかみ物産館



右前\_えごま油 1本1,397円(地産地消応援価格)/右奥\_えごま灰の軸葉を使ったソース入れ(岡島千恵子さん作)/左\_サラダにも◎

(有)アルバ

和賀町藤根25-16-2

☎71-7285 FAX 71-7286

体にたまらないヘルシーオイル  
生搾りえごま油



高橋一男さん、律子さん

癖がなくまるやかな風味  
えごま(シソ科)の栽培から搾油までを一貫管理。無農薬でも加えない純粋な油です。焙煎せず、じっくりと実を压榨して取り出す方法はまれ。α-リノレン酸を多く含むので、他の油とバランス良く取ってみてはいかががでしょうか。美容やダイエット、高血圧などの人にもお勧めです。

## 散歩道

120

北上市長 伊藤 研

## 夏油の春

展勝地の桜の季節、雪に閉ざされていた夏油温泉がオープンすると、北上は本格的なグリーンシーズンの始まりとなる。

恒例の温泉開きの日、濃い緑と萌葱色の織りなす森のトンネルをくぐりながら、合間に見る雨にかすむ残雪の山々の一幅にも似た美しさに感動する。

渓谷には雪解け水が勢いよく流れ、木々の間からは山の清水が滝の様をなしている。山の方々に見える赤みの濃い山桜と、織りばめたように所々に咲いている「コブシ」の白さがアクセントになり、夏油の春はまさに北国の春を満喫させた。

この季節、駐車場裏の山道に咲く「山荷葉」や「すみれ」など、さまざまな山野草は寒さの影響で去年より

り小ぶりながらも咲いていた。毎年咲いていた我が家の山荷葉は、なぜか今年は咲かなかったから懐かしい友人にあったよううれしかった。

かつてより、農繁期が終わると温泉は湯治客でにぎわい、泉質の評価も高く全国から訪れる人も多く、春夏の新緑、秋の紅葉はことのほか人気である。

しかし少し気になっっているのは、近年この素晴らしい環境であっても、生活様式の変化や、一時の秘湯ブームのピークが過ぎたのか訪れる客は減り気味である。過日の会議でも、「観光」と「健康」と「市民の癒し」や「レジャー」やかつての「湯治客」の来訪を望む声が多かった。

子どものころ、バスと営林署のトロツコを乗り継ぎ、山道を一里歩いてランプの宿にたどり着いた。途中の川の丸木橋を渡り「けつぱりもとつた」ことなど思い出し、帰路の車窓から見る木々の美しさに酔いながら当時の風景がダブった。